

尚、レジスターの『取扱説明書』にも本内容はすべて記載されていますので併せてご参照下さい。

②システムオプションを変更します。

レシート上に“外税対象額”、“外税額”の印字を設定します。

<設定操作>

設定宣言 ｱﾄﾞﾚｽNO 選択した項目 NO

<項目NOの選択例>

合計下に税合計の印字 印字する：1 2 3 4 7 （ご推奨）

合計の上に内税対象額・内税額を印字する：1 2 3 4 5 6

<システムオプションの内容>

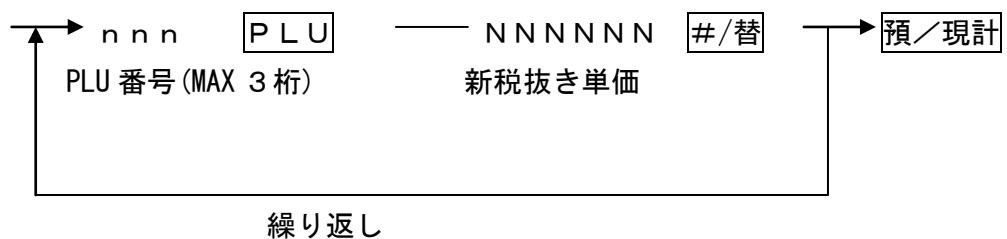
ｱﾄﾞﾚｽNO	項目NO	システムオプション内容	項目NOを	
			選択しない	選択する
6	1	レポートの外税データ	無印字	<印字>
	2	レポートの内税データ	無印字	<印字>
	3	レシートの外税対象額の印字	無印字	<印字>
	4	レシートの外税額の印字	無印字	<印字>
	5	レシートの内税対象額の印字	無印字	<印字>
	6	レシートの内税額の印字	無印字	<印字>
	7	レシートの税合計額の印字	<無印字>	印字

(注) < >内は工場出荷時の設定です。

③PLUの単価を変更します。

各PLUの設定単価を税込み価格から税抜き価格へ変更します。

【設定操作】 鍵位置<設定>



④レシート上の税区分シンボルマークの変更ができます。

標準ではレシートの部門名称の右端に税区分シンボルマークが印字されます。

			[現状]	[変更後]
部門01	¥1,000		<税区分>	<印字シンボル>
部門02	¥2,000			
部門03	¥5,000内			
小計	¥8,000		外税部門 : 外	⇒ (空白)
外税売	¥3,000		内税部門 : (空白)	⇒ 内
外税	¥150		非課税部門 : 非課税	⇒ 非
見出し	¥8,150			

【設定操作例】 鍵位置<設定>

1 0 X 7 小計

2 5 5 #/替 1 6 9 #/替 1 6 9 #/替
2 5 4 #/替 小計 預/現計

「非」の漢字コード

「空欄」の漢字コード

「内」の漢字コード

注1. 「非」・「外」・「内」のシンボルマークは漢字1文字設定できます。この順番で設定します

1 6 9の空欄コードは半角です。

⑤税計算の端数処理が選択できます。

税計算の端数処理（切り上げ／四捨五入／切り捨て）が選択できます。

標準では外税の端数処理は切り捨てになっています。

<設定操作>

1 8 X 7 小計 1 4 6 #/現 預/現計

設定宣言

アドレスNo.

選択した項目No. (ご推奨)

<外税計算の1円未満の端数を選択できます>

“切り捨て”の場合: 1 4 6 を選択し設定します。(標準: ご推奨)

“四捨五入”の場合: 1 6 を選択し設定します。

“切り上げ”の場合: 1 3 6 を選択し設定します。

アドレス No.	7		
項目 No.	名称	選択しない (X)	選択する (O)
1	(固定項目)		<1>
3	外税の端数処理切り上げ	<四捨五入>	切り上げ
4	外税の端数処理切り捨て	四捨五入	<切り捨て>
5	内税の端数処理切り上げ	<四捨五入>	切り上げ
6	内税の端数処理切り捨て	四捨五入	<切り捨て>

< >が出荷時の設定状態です。

設定内容を確認します。

＜使用する鍵＞MAキー、＜鍵の位置＞点検

9 **小計**・・・レシートが発行されます。左端7の部分で右端に146など設定した番号が印字されている事をご確認ください。

【マスター／サテライトシステムで運用時の設定変更】

マスター機で前記の設定変更を終了したら、サテライト機に設定を送信します。

【変更データの送信（DLL）】

1. 各サテライトレジスターでは日計精算・累計精算・PLU精算を行います。

2. マスター機で下記操作します。

① 鍵位置＜RTR＞、＜設定＞

② **2** **1** **預／現計**

サテライト機に設定内容を送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します。

③ 鍵位置＜RTR＞、＜設定＞を戻します。

（注）サテライト機へのデータ送信でサテライト機の電源が切れていたなど障害があった場合には、手動でデータ送信のリトライ・中止を行う事もできます。

リトライ：**預／現計** 押し下げ

中 止：**替** 押し下げ

中止時は障害復旧後、再度送信ください。